

# マキノ病院ニュース

第92号

—平成28年6月1日発行—

小規模多機能型居宅介護事業所

## はびねすマキノより

はびねすマキノ所長 田中 千香代

昨年5月に開所いたしました「はびねすマキノ」も、一周年を迎えました。ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、関係各所の方々のお力添えのおかげと大変感謝し、お礼を申し上げます。

はびねすマキノ開所前からも、利用登録の申し込みをしてくださる方もあり、果たして地域の方々のご期待に副うことができるのかと心配もありました。

開所当初は、登録者数3名、初日の通いのご利用者様が2名で、職員8名がご利用者お二人を囲んで、楽しく昼食を食べることがついていたことのように、思い出されます。殺風景だった、はびねすマキノも、ご



様に藁からしめ縄を編んでいたことができました。普段とは違う真剣な表情で藁をたたくて、両手で上手に藁をねじって縄を作ってくたさき、ご職員にも藁のねじり方を教えてくださいました。

在宅のサービスでは、デイサービスとショートステイは別の事業所を利用することになります。デイサービスには喜んで行けるが、ショートステイに行くのは嫌がるなどのお話を伺ったことがあります。はびねすマキノではデイサービスとショートステイとホームヘルプのサービスを同じ事業所で、同じ職員が行います。デイサービスに来てそのまま泊まれる・毎日の同じ活動が続けられる・いつも同じ目線で利用者様のこと

がみられる・いつもの様子をケアマネジャーが実際に見て様子把握できるといったメリット

があります。「以前に比べて落ち着いて暮らしている」「今までの介護サービスは嫌がらすが、はびねすには嫌がらずに行ってくれる」などの、うれしいご意見をいただき、職員の励みになっています。

ご利用につきましては、何なりとお気軽にご相談いただけますと幸いです。

ご利用者様の笑顔を大切に、また地域の方々に頼っていただける介護事業所を目指して、ますます努力精進してまいりますので、今後も、はびねすマキノをどうぞよろしくお願いたします。

外来診察の待ち時間にも、お気軽に、はびねすマキノにお越しいただき、ご利用者様と職員の手作りの壁飾りをご覧ください。ご利用者様も職員も心よりお待ち申し上げます。

診療科のご案内  
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科  
リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科  
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —  
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00  
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099  
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

## ドクターコーナー



糖尿病という病気については最近テレビや、雑誌等でも良く取り上げられており、皆さんもよくご存じかと思えます。なので、今回は糖尿病の中でも、あまり知られていない糖尿病の時代背景や歴史についてお話をします。

近年世界では糖尿病人口は急増しており、2015年では糖尿病有病者数は世界で4億1500万人と推定されます。2014年から2015年の約1年で約2830万人も

## 糖尿病について

内科 坂井 亮介

の患者数が増えており、日本でも近年糖尿病患者さんの数は上昇傾向で、ここ50年間の間に約50倍程度にまで増加し、現在約700万人程度とされています。「糖尿病が強く疑われる者」は約950万人、「糖尿病の可能性を否定できない者」は約1100万人と推計され、「糖

尿病が強く疑われる者」と「糖尿病の可能性を否定できない者」を合わせた約2050万人もの人数と推定されています。ちなみに、2012年度の世界の糖尿病患者さんの数では中国が一番多く、次にインド、そして順に米国、ブラジル、インドネシアの順であり、日本は9

番目に多い国となっています。このようにアジア地域で糖尿病患者は急増していることが分かっています。なぜ糖尿病人口が急増しているのでしょうか。元々、人類がこの世に誕生してから約450万年程度人類は常に飢餓と戦っていました。このため、ヒトの体はできるだけ少量の

激に変化したことや、肉体労働が昔に比べて減少したことが、元々エネルギーをため込むようになってきた我々にとってマイナスに作用し、糖尿病患者が急増することとなりました。これらからも、糖尿病の基本的治療で、適切な「食事療法」、「運動療法」が重要であることがお分かりいただけると思います。

次に糖尿病の歴史についてです。糖尿病の最も古い記録は紀元前15世紀にまでさかのぼります。紀元2世紀ごろには、糖尿病の症状も把握され、18世紀になつて初めて尿中に糖が存在することが証明されました。また血液の糖分、つまり血糖をさげる唯一のホルモンである「インスリン」が発見されたのは1921年です。この発見はインスリンホル

モンとの絶対的不足が原因であることが明らかになりました。以上、糖尿病の背景、歴史について今回はお話をさせて頂きました。少しでも多くの方に糖尿病について興味を持っていただくと嬉しく思います。

食物でエネルギーをため込めるようになっていきました。その後、昭和中期頃より好きなものを食べることでできるようなり、ここ50年程度でいわれる飽食と言われる程食事が増えていきました。食の欧米化というように、食事内容も変化しました。このように食生活が短期間で急